

2年生の皆さんへ

(2学年臨時休校中 学年便りNo.2)

5月7日に皆さんが元気な姿を見せてくれたことを、学年職員一同嬉しく思いました。休校中、学習をしたり、適度な運動をしたり、家族の手伝いをしたり、弟妹の面倒を見たりした仲間も多いと思います。(夜遅くまで、ラインやゲームに耽っている人はいないと思いますが……。)先生方も、昨年度までの職場での勤務とは少し違う時間で動いているので(部活動がないので)若干時間があります。こんな自分でも久々に読書をしてみようかなと思うことが多くなり、4月から10冊程度、本を読む時間を確保することができました。遠藤先生曰く、「読書をするのとたくさんの知識が身に付き、いろいろな考えに触れられたりします。」

そこで、「**中学校時代に読んで感動した本**とその理由を書いてもらいました。

飯塚先生

感動した本 『窓ぎわのトットちゃん』 (黒柳徹子)

中学の頃、父から贈られた本で、タレントの黒柳さんの小学校時代の自伝物語。ユニークな学校や主人公のトットちゃんの自由な発想に「自分は自分で良いんだよ。」と楽しく読んだ記憶があります。

海老原先生

感動した本 『人生論ノート』 (三木 清：哲学者)

人間(友達)関係、幸福、勇気、公正、生きる意義、…中学校時代は答えのヒントと少しでも見つけたい時があるでしょ?そんな時、「悩むのも悪くない。」と教えてもらえた本でした。

野澤先生

感動した本 『坊ちゃん』 (夏目 漱石)

感動した本というか、思い出に残っている本です。中学校3年生の時に、読書感想文を書くために読んだ本です。中学校3年生の私には理解するにはとても難しく何度も読み返したことを覚えており、今も印象に残っている本です。

遠藤先生

感動した本 『向日葵の咲かない夏』 (道尾 秀介)

想像とは全く違ったラストにまず驚きました。でもよく考えてみると、その結末に至るまでに、さりげないしかけが沢山……小説を読むことの面白さを教えてもらえました。

須賀

感動した本 『老人と海』 (ヘミングウェイ)

キューバに住むサンチャゴは、84日間も不漁に苦しむ老漁師。巨大カジキを釣りあげる事に執念を燃やし、命をかけて海の上で戦いを挑む。男の本気で勝負する姿に中学校2年生の須賀は、感動した。

山本先生

感動した本 『数学ガール』 (結城 浩)

千葉先生(いつ読んだか忘れましたが…… 最近??)

感動した本 『君の臍臓を食べたい』 (住野 よる)

先生方が最近読んだ本

『いつか、眠りにつく日』(飯塚先生) 『未完の資本主義』(海老原先生)

『置かれた場所で咲きなさい』(野澤先生) 『恋する伊勢物語』(遠藤先生)

『漫画 君たちはどう生きるか』(須賀) 『あずかりやさん』(山本先生)

先生方に、アンケートをとらしてもらい、その後話を聞くと、その感動した本についていろいろと話をしてくれました。中学生時代という、感性が日に日に磨かれていく時期に、素敵な本に出会えると良いかな。と思います。あいにく、本屋さんや図書館が休みで難しいかもしれませんが、時間にゆとりがあれば、ぜひ本を読んでみてください。(2学年 須賀)